

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修給排水衛生設備他工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

該当する

該当しない

2. 別途工事

建築工事

電気設備工事

3. 現場の状況

設計図のとおり

工事期間中の2026年7月18（土）から2026年8月24日（月）は夏休みです。

4. 留意事項

① 本工事受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事期間中は施設運営と同時使用となるため、現場の状況に応じて

仮囲い等を設置し、事故の無いよう十分注意してください。

③ 工事期間中は、周辺地域、職員及び第三者の安全に細心の注意を払い、

危険の無いよう対策を講じてください。構内管理については施設管理者との

協議、調整を十分に行ってください。

④ 工事車両の出入り口と施設関係者の出入り口が重複するため、大型車等の出入り

には必要に応じて交通誘導員を配置し、安全管理に努めてください。

⑤ 工事関係車両の駐車場は、施設管理者と協議が必要です。

⑥ 騒音・粉塵が発生するはつりなどの作業は原則、夏休み期間中に行ってください。

夏休み期間以外での作業となる場合は監督員・施設管理者と協議のうえ作業日程を

決定してください。

⑦ 解体・撤去物以外のものに損傷を与えないように対策を講じてください。

⑧ この工事は、建設リサイクル法の対象工事に該当しませんが、特定建設資材の

再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。

⑨ 実施工程表を契約後14日以内に提出するとともに、速やかに承認図、施工

計画書等の承諾を受けてください。

⑩ 別途工事施工業者と綿密な連携をとり、円滑な工事となるよう調整してください。

⑪ 現場着手は施設管理者と協議の上、着手としてください。

⑫ 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行い、

手続きを行った場合は、速やかに報告してください。

⑬ 2026年8月25日（火）より2学期が開始となります。2学期開始までに4階便所を

使用可能な状態にしてください。

福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修給排水衛生設備他工事

図 面 リ ス ト					
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
M /1	機械設備工事特記仕様書No.1	N. S	M /11	1階平面詳細図	1 : 50
M /2	機械設備工事特記仕様書No.2	N. S	M /12	2, 4階平面詳細図	1 : 50
M /3	工事区分表	N. S	M /13	3階平面詳細図	1 : 50
M /4	附近見取図・配置図・凡例	1 : 500	/		
M /5	既設配管系統図	N. S	/		
M /6	1階平面図	1 : 150	/		
M /7	2階平面図	1 : 150	/		
M /8	3階平面図	1 : 150			
M /9	4階平面図	1 : 150			
M /10	R階平面図	1 : 150			

福山市教育委員会事務局管理部施設課

2026年 4月	課 員	次 長	課長補佐	施設課長	管理部長
福山市教育委員会事務局 管理部 施設課					

排水設備	① 管 (第1樹まで)	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 排水用鉛管 (SHASE-S203) ・ コーティング鋼管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP
	② 通気管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管
	3 満水試験継手	3階以上にあたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。
	4 ビット内配管保温	・ 施工する ・ 施工しない
	(屋外)	
	5 方式	・ 自然排水 ・ ポンプ排水
	6 管	・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (VP ※ VU)
	7 インバート樹	・ SA, AB形 ・ SC形 ・ 小口径
	8 インバート樹用蓋	・ 塩ビ製 ・ 鉄製 (MHA, MHB, 小口径用防護ハット)
	9 排水樹	・ RA, RB形 ・ SC型 ・ 小口径
	10 排水樹用蓋	・ 塩ビ製 ・ 鉄製 (MHA, MHB, 小口径用防護ハット) ・ グレーチング ・ 鉄板製 φ 6m/m
	11 埋設深さ	・ 300m/m以上 (車両道路以外) ・ 600m/m以上 (車両道路) ・ 勾配図による。
12 その他	・ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上、満水試験を行う。	
給湯設備	1 方式	・ 単管式 ・ 復管式
	2 管	・ 鋼管 (JIS H 3300) (Mタイプ, Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材(14mm以上)で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリプテン管
	3 弁	・ JIS 10K ・ JIS 5K
	4 熱源	・ ボイラー (給湯器、湯沸器) ・ 電気温水器 (ヒートポンプ式給湯器)
	5 膨張水槽	・ ステンレス製 (鋼板製)
	6 その他	・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。
消火設備	1 管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 0.41) SGP-VS ※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。
	2 弁	・ JIS 10K
	3 消火栓箱	・ 総合形 (HB-1A, HB-1B) ・ 単独形 (HB-2A, HB-2B) ・ 総合形 (HB-4A, HB-4B) ・ 消火器併設形 (HB-1AS, HB-1BS)
	4 水源用水槽	・ ステンレス製 (鋼板製)
	5 消火ポンプユニット	・ 認定型 φ× /min× m kW× 台
	6 ポンプ基礎	・ 標準基礎 ・ 防振基礎 (基礎の大きさは図示による)
	7 消火器	()型 (1)本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共
	8 保温	イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ) 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ) 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する
	9 その他	水圧試験及び消防設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。
浄化槽設備	1 処理種別	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 (BOD mg/以下 COD mg/以下 T-N mg/以下 T-P mg/以下)
	2 構造	・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他 ()
	3 形式・容量	・ ユニット型 () 人槽 /日 ・ 現場施工型 () 人槽 /日
	4 排水方式	・ 自然排水 ・ ポンプ排水 ()
	5 マンホール	・ MHA型 ・ MHB型 ・ 製造者の規格品
	6 その他	工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。

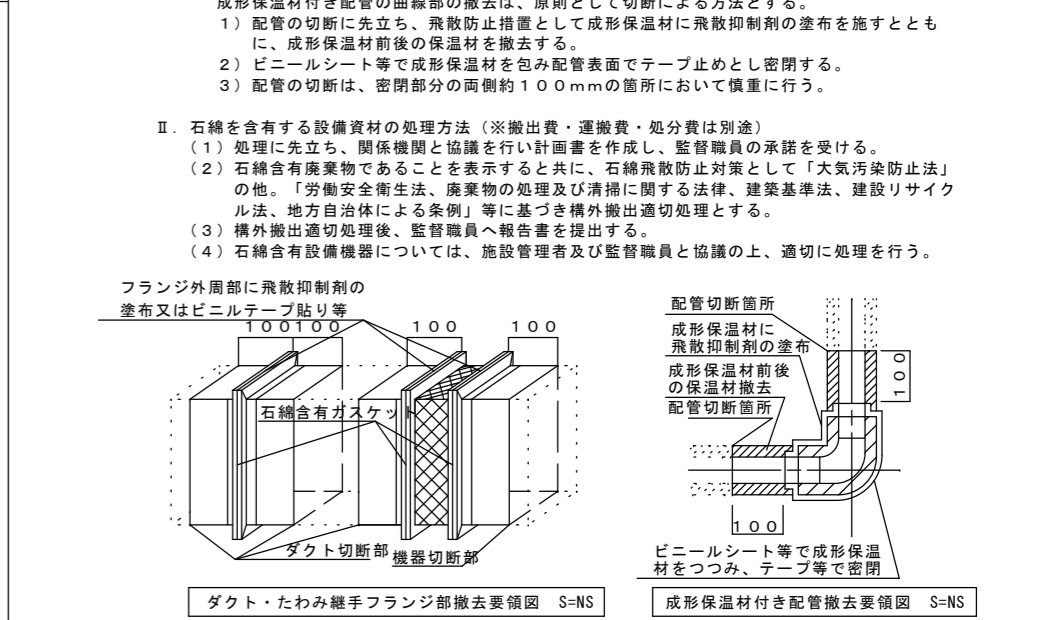
1 種別	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス
2 管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) ・ 塩化ビニル被覆鋼管
3 継手	・ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ・ PLS継手同等品以上 ・ 溶接継手
4 プロパンガス集合装置	・ () kg () 本立 ・ 無 ・ バルク貯槽 () kg ・ 整型 ・ 横型
5 機器等	・ 別図による
6 遮断装置等	遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は () 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は () 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。
7 その他	・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。

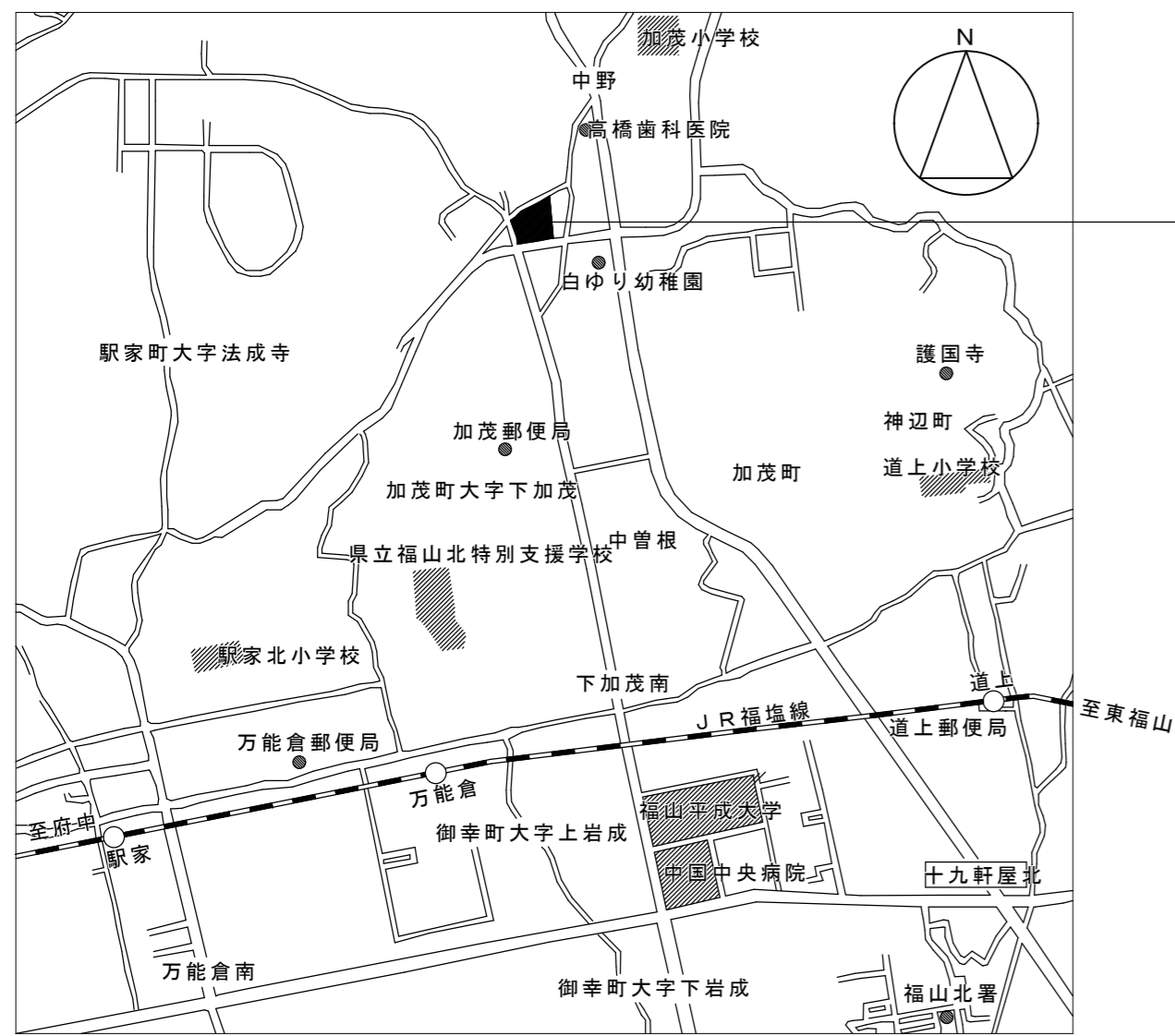
1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条件</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.2 °C</td> <td>49.5 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>45.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.0 °C</td> <td>69.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>(建築設備設計基準令和6年版) ※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条件	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.2 °C	49.5 %	28.0 °C	45.0 %	冬季	0.0 °C	69.5 %	19.0 °C	40.0 %
条件	屋外		屋内																	
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																
夏季	35.2 °C	49.5 %	28.0 °C	45.0 %																
冬季	0.0 °C	69.5 %	19.0 °C	40.0 %																
2 冷水・温水・冷却水	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP 膨張・補給水管 ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304																			
3 蒸気・油管及び冷媒管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP ・ 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009) 冷媒管の保温外装 屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A1-(ア・イ)・V1) ・ 保温化粧ケース (耐熱性樹脂製) 屋外露出 ・ ステンレス鋼板 (E2-(ア・イ)・V1) ・ 保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質 ・ 耐熱性樹脂 ・ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板 (溶融亜鉛めっき)																			
4 ブライン管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP																			
5 給水及び排水管	給、排水設備の項による。																			
6 ファンコイルユニット及びパッケージエアコン	・ 床置形 ・ 天吊形 (露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)																			
7 フレキシブルジョイント	・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製																			
8 吹出口・吸込口	・ 枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製																			
9 防煙・防火ダンパー	・ 防煙ダンパー (SD) ・ 防火ダンパー (FD) ・ 防煙防火ダンパー (SFD) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復帰機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式																			
10 風道	・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法)																			
11 冷水水管の空気抜	消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜きを設ける。自動空気抜きは、元バルブ付とする。																			
12 その他	試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の () % を予備品 (枠付) として納める。																			
13 予備品等																				

① ダクト	低圧ダクト (○ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (共板 ・ スライド) ・ アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一番手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 取付位置は () 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト) とする。
2 風量測定口	空気調和設備の当該項目による。
3 ダンパー	・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統
4 排気ダクトのシール	空気調和設備の当該項目による。
5 チャンバー	

① 保温	下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は機器から外壁の間) ・ 厨房等多湿箇所のダクト (仕様はh・(ア)・Xとし範囲は機器から外壁の間) ・ OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ○ EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm)
換気設備	
自動制御設備	1 中央監視制御装置 ・ 無し 2 電源装置 ・ 要 () 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 3 計装工事の配線 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。

石綿含有設備資材の処理について	<p>I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法</p> <p>1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける</p> <p>(1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う</p> <p>(2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。</p> <p>(3) 配管フランジ部 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 2) 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>(4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニルシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>II. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤出費・運搬費・処分費は別途)</p> <p>(1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。</p>
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



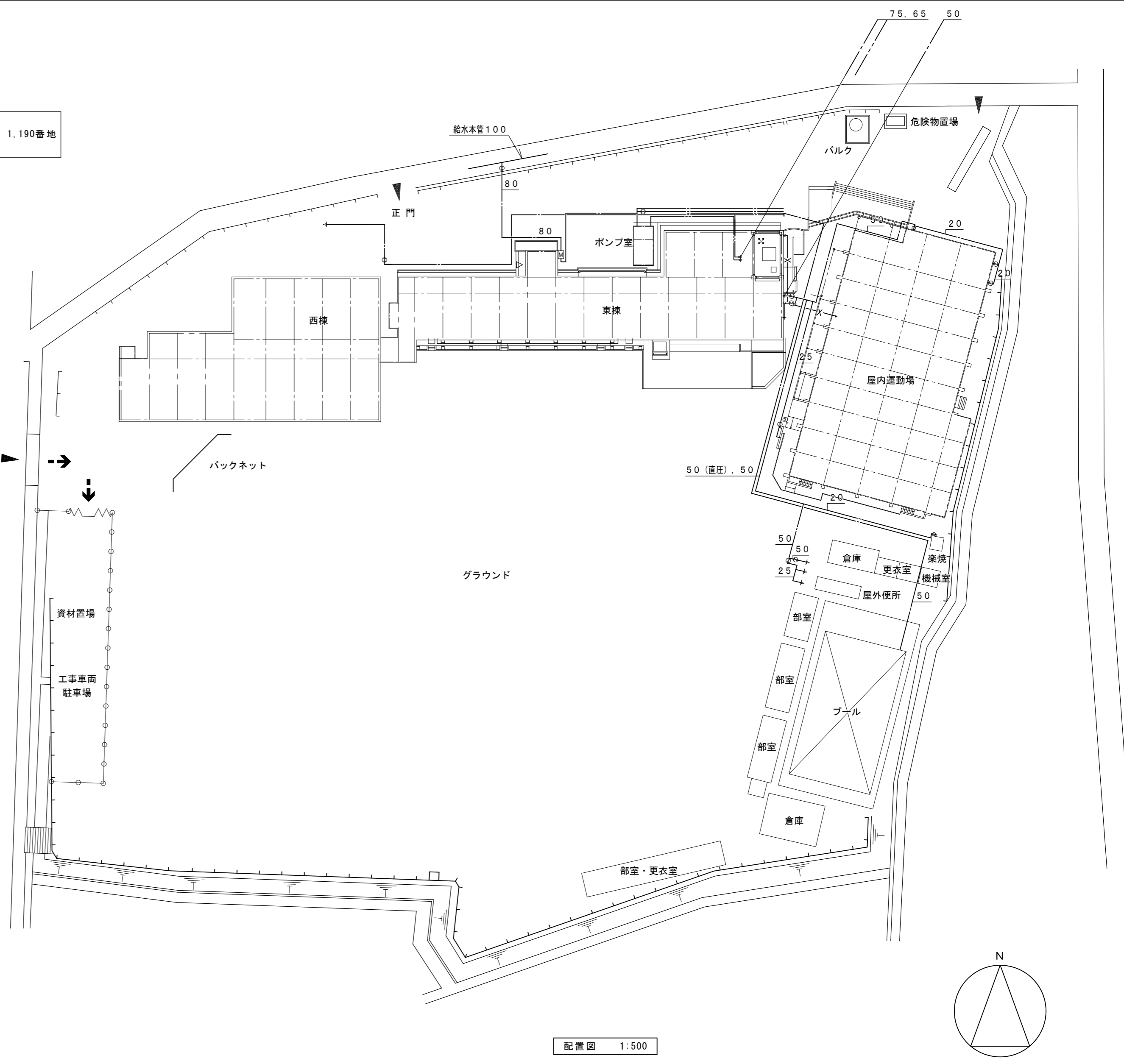


附近見取図 S=N. S.

工事場所：
福山市加茂町大字下加茂 1,190番地
福山市立加茂中学校

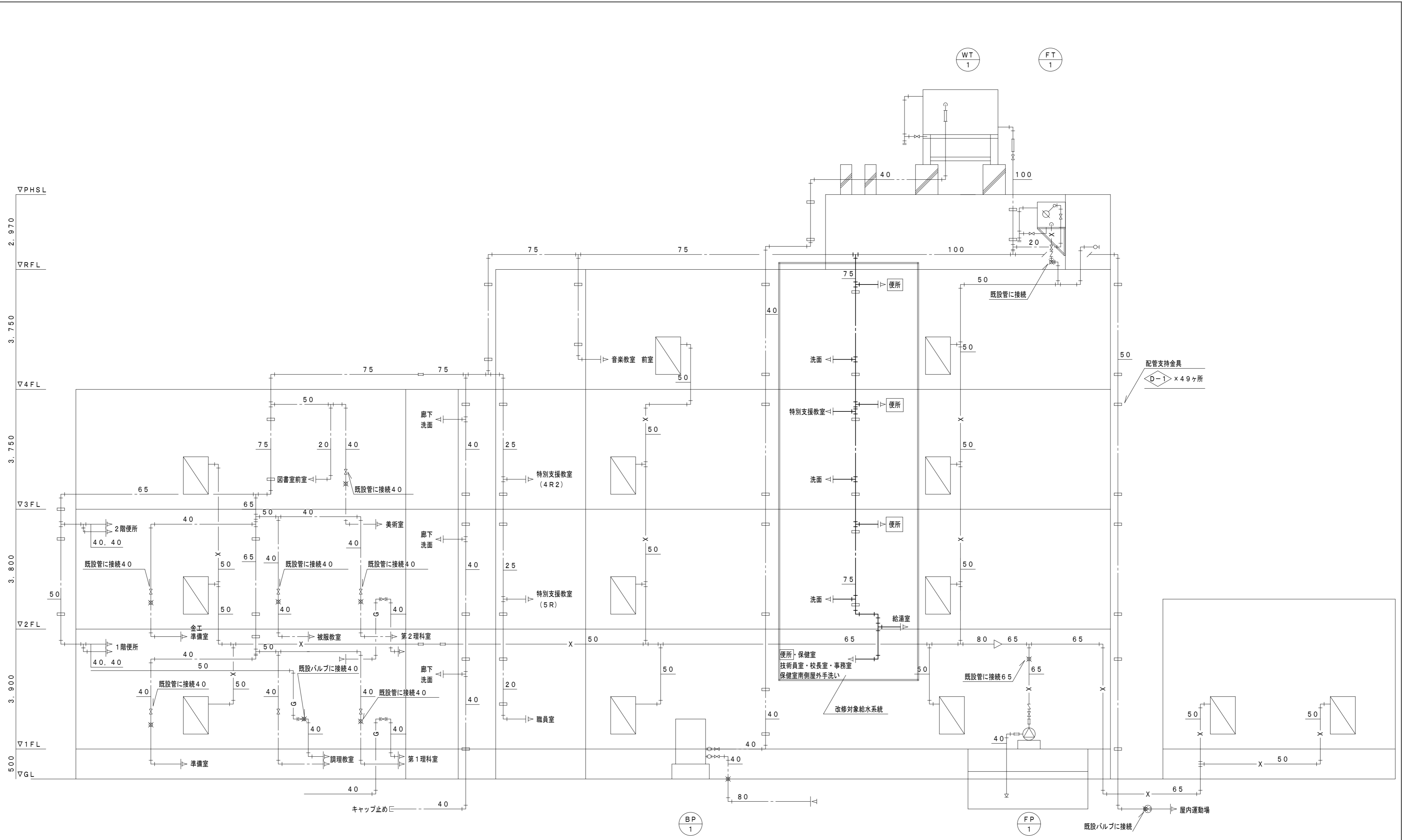
凡 例				
記 号	名 称	施工場所	管 種	備 考
— — — —	給 水 管	屋内一般配管	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP)	JIS K 6742
		便所・機械室配管	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP)	JIS K 6742
— — — —	汚 水 管	便所・機械室内配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741-11
— — — —	雑 排 水 管	便所・機械室内配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741-11
— — — —	通 気 管	便所・機械室内配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741-11
— x — —	消 火 管	屋内一般配管	配管用炭素鋼管 (白)	

- 【注 記】
1. 配管が、防火区画等を貫通する場合は、令第129条の2の4及び告示1422号に準じて処理を行う。
 2. 令第112条第19項の規定により、管と防火区画のすき間は不燃材料で埋める。
 3. 建築設備の支持構造部及び緊結金物で腐食の恐れがある部分には平12建告1388号に従い防腐措置を講ずる。(令第129条の2の4第2号)
 4. 配管設備の構造は平12建告1388号第4の規定に従う。(令第129条の2の4第2号)
 5. 水栓の開口部には、逆流防止のため水栓とあるれ面の吐水口空間を確保する。(令第129条の2の4第2項2号)
 6. 給水管の凍結による破壊のおそれのある部分は、防凍の措置を行う。(令第129条の2の4第2項4号)
 7. ウォーターハンマーが起こりうる箇所は防止のための処置を行う。(令第129条の2の4第2項)
 8. 腐食の恐れのある部分には、当該部分の材料に応じた腐食防止措置を行う。(令第129条の2の4第1項1号)

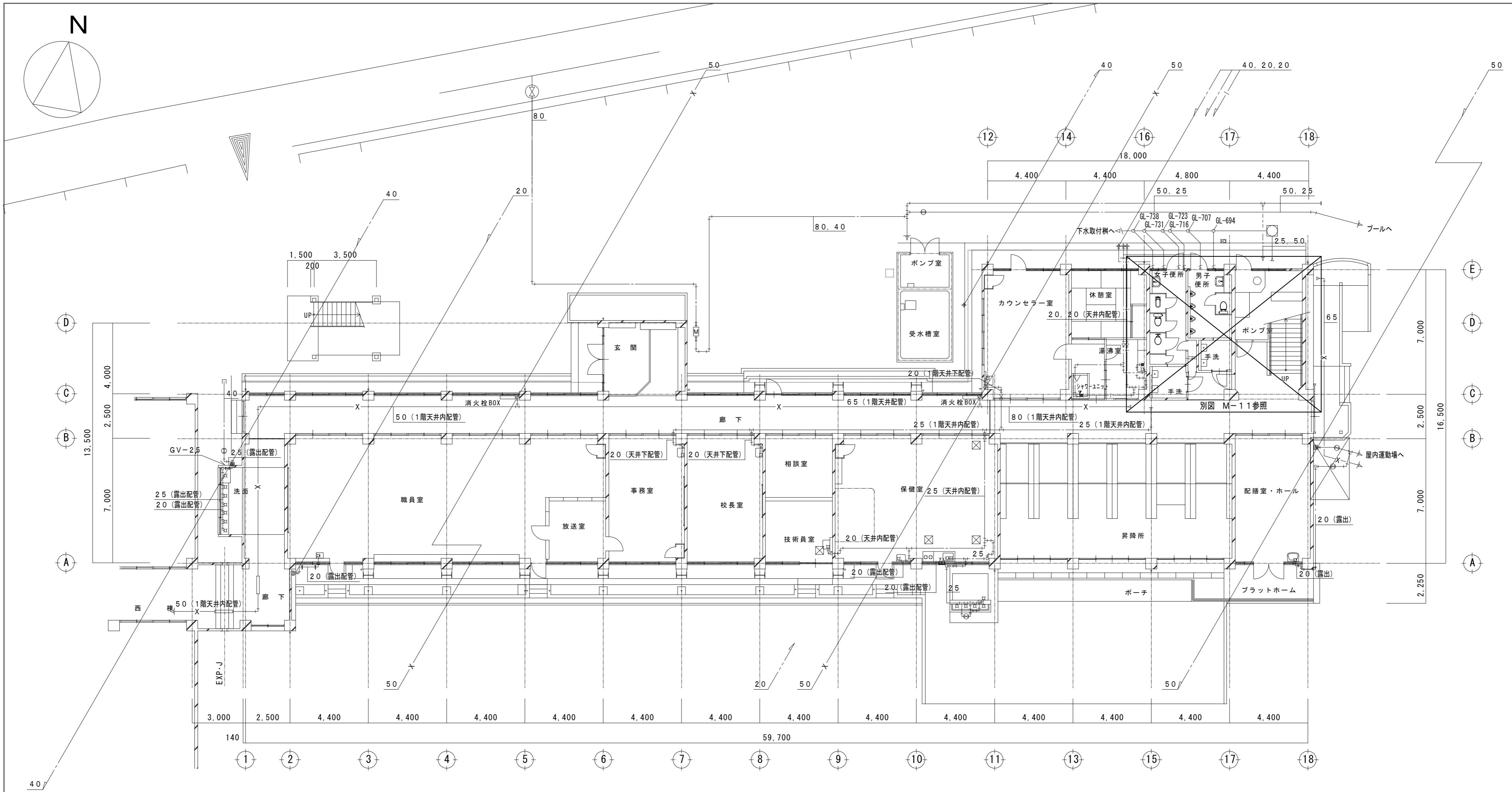


配置図 1:500

福山市立加茂中学校校舎 (東側) 便所改修給排水衛生設備他工事		M 4
附近見取図・配置図・凡例		縮尺 1:500
2026年 4月	課 員 施設担当次長	課長 補佐 課 長 部 長
福山市教育委員会施設課		

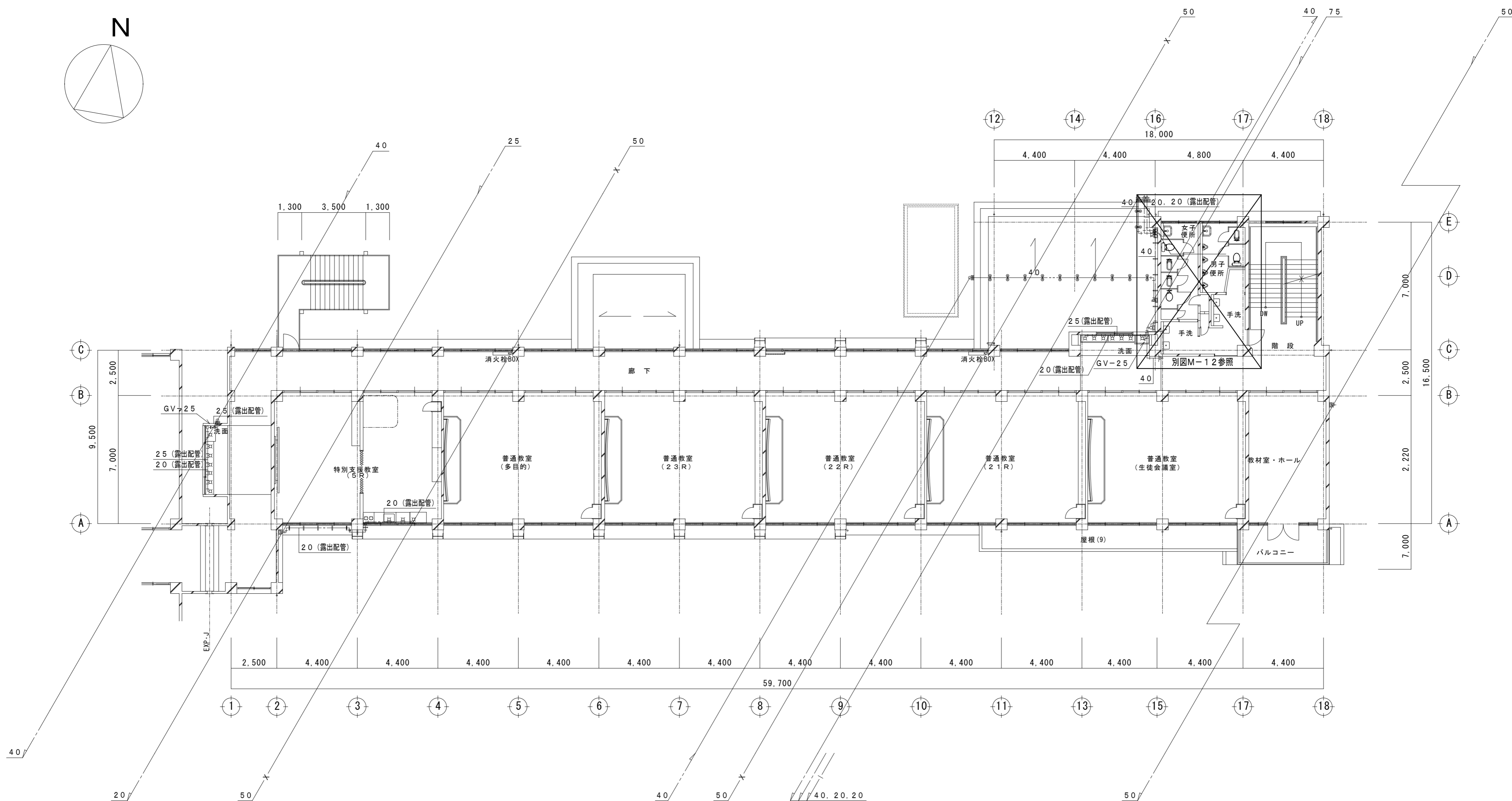
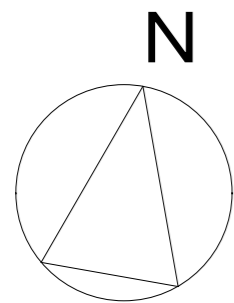


福山市立加茂中学校校舎（東側） 便所改修給排水衛生設備他工事				M 5
既設配管系統図			縮尺	
2026年 4月	課 員	施設担当次長	課長補佐	課 長
福山市教育委員会施設課				



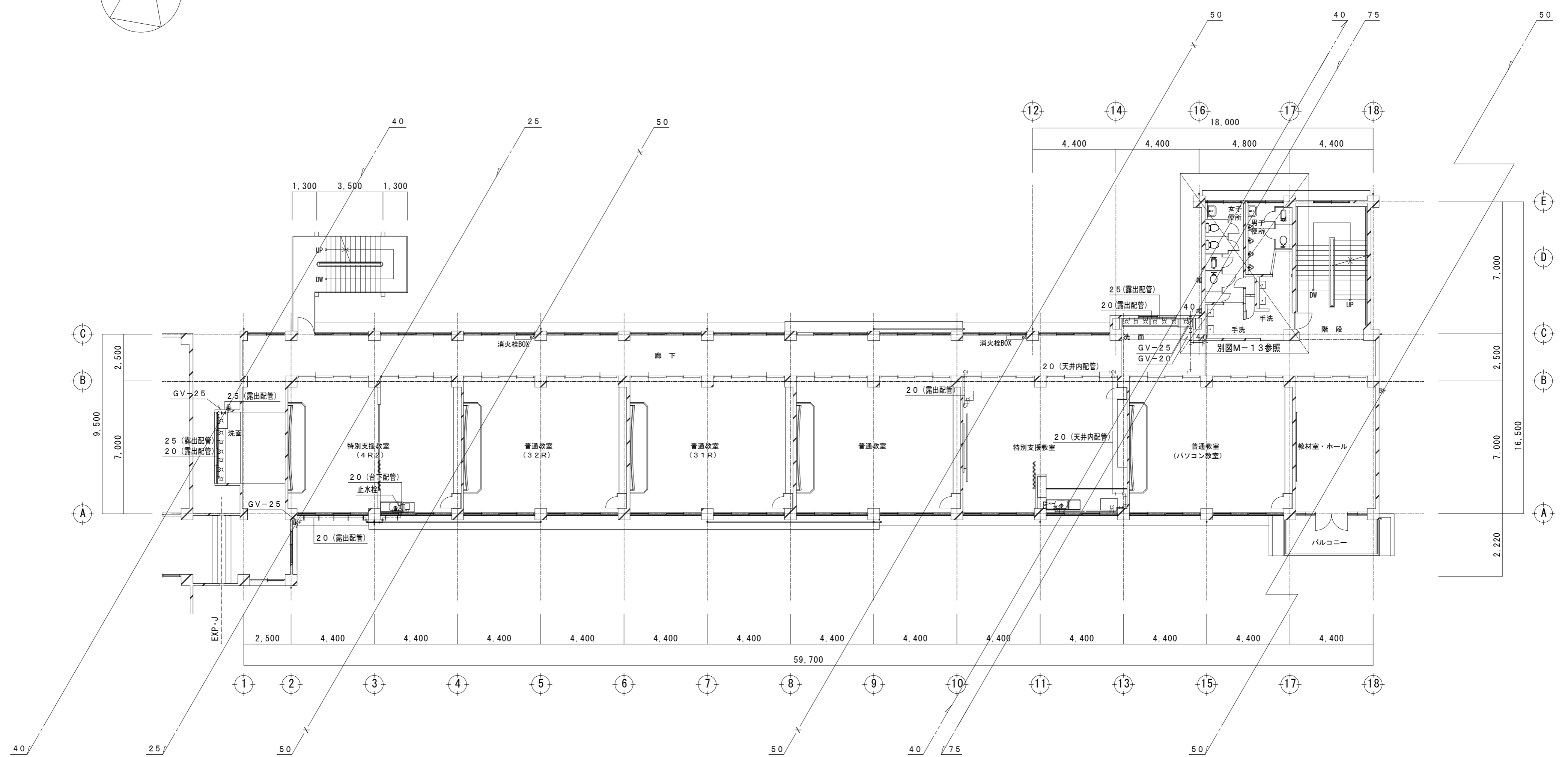
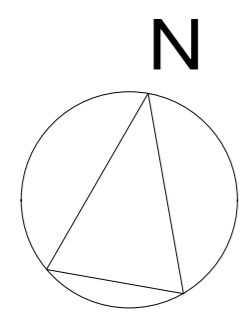
東棟 1階平面図 S=1:150
(既設図)

福山市立加茂中学校校舎（東側） 便所改修給排水衛生設備他工事				M 6
1階平面図			縮尺	1:150
2026年4月	課員	施設担当次長	課長補佐	課長部 長
福山市教育委員会施設課				



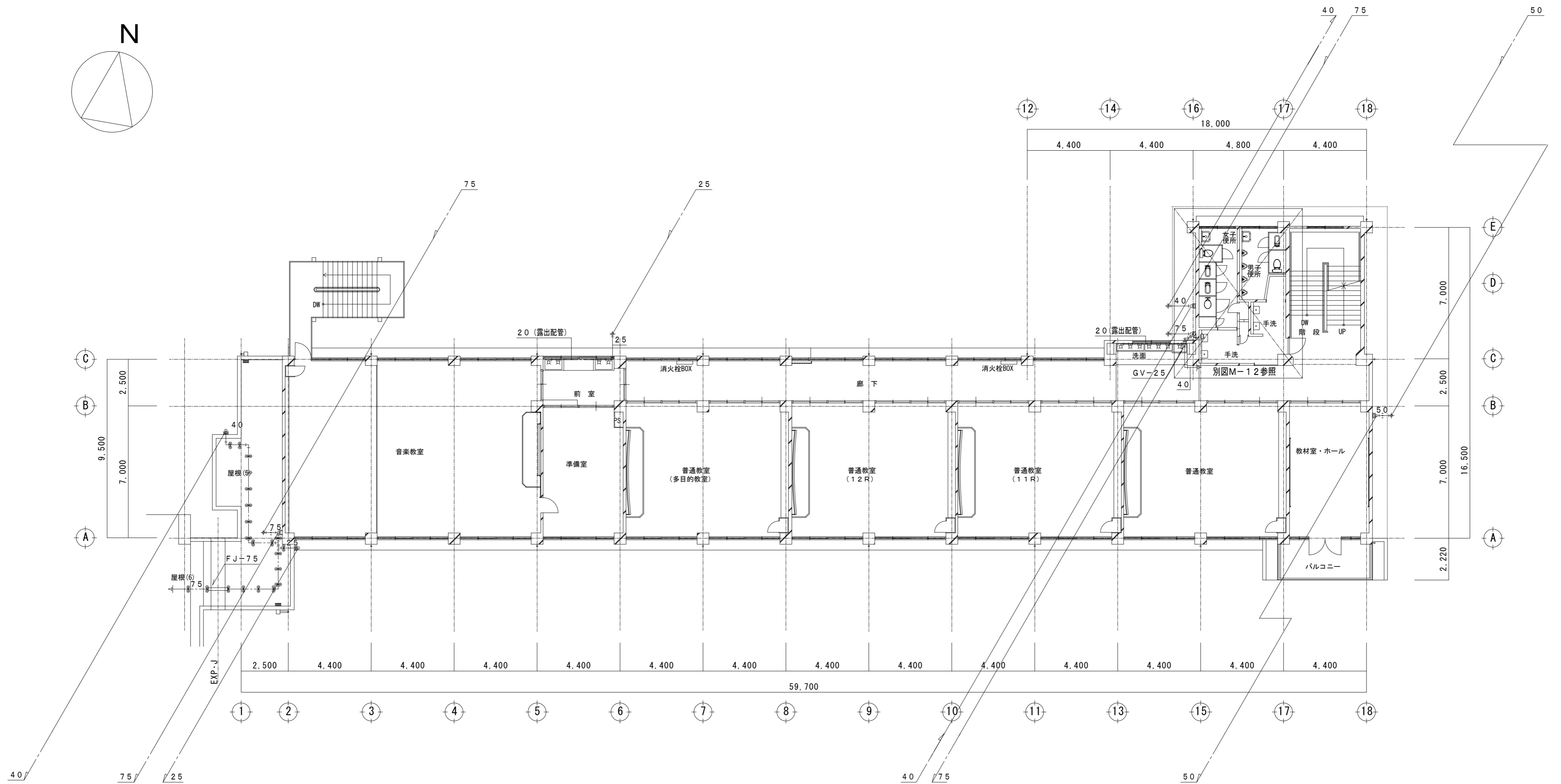
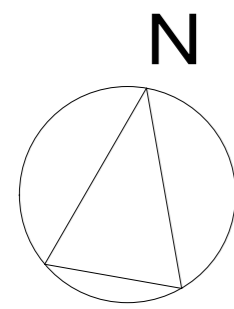
東棟2階平面図 S=1:150
(既設図)

福山市立加茂中学校校舎(東側) 便所改修給排水衛生設備他工事				M 7
2階平面図			縮尺 1:150	
2026年4月	課員	施設担当次長	課長補佐	課長部 長
福山市教育委員会施設課				



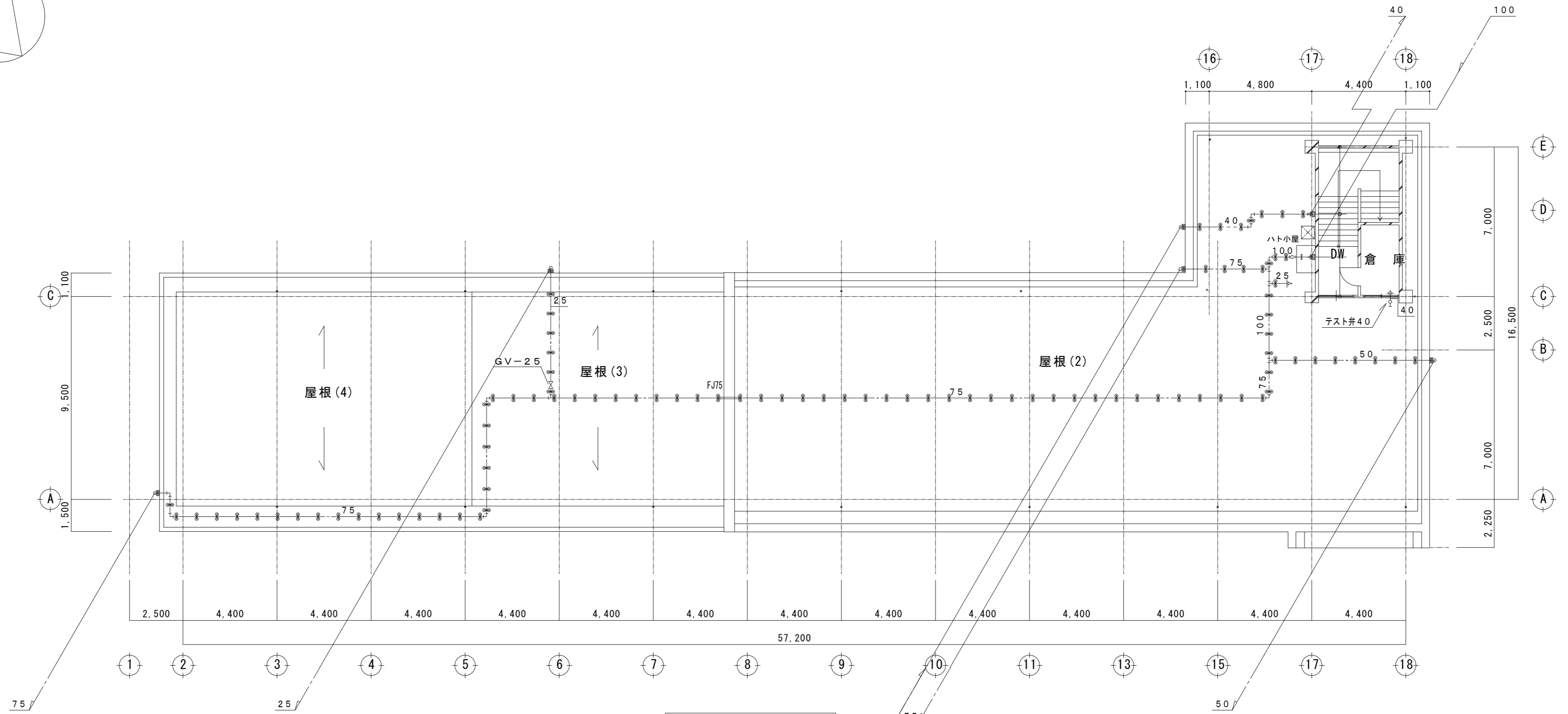
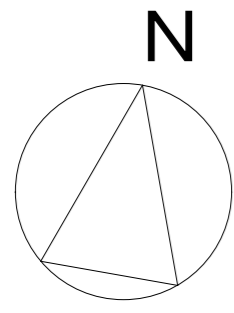
東棟3階平面図 S=1:150
(既設図)

福山市立加茂中学校校舎(東側) 便所改修給排水衛生設備他工事				M 8
3階平面図			縮尺 1:150	
2026年4月	課員	施設担当次長	課長補佐	課長部 長
福山市教育委員会施設課				



東棟4階平面図 S=1:150
(既設図)

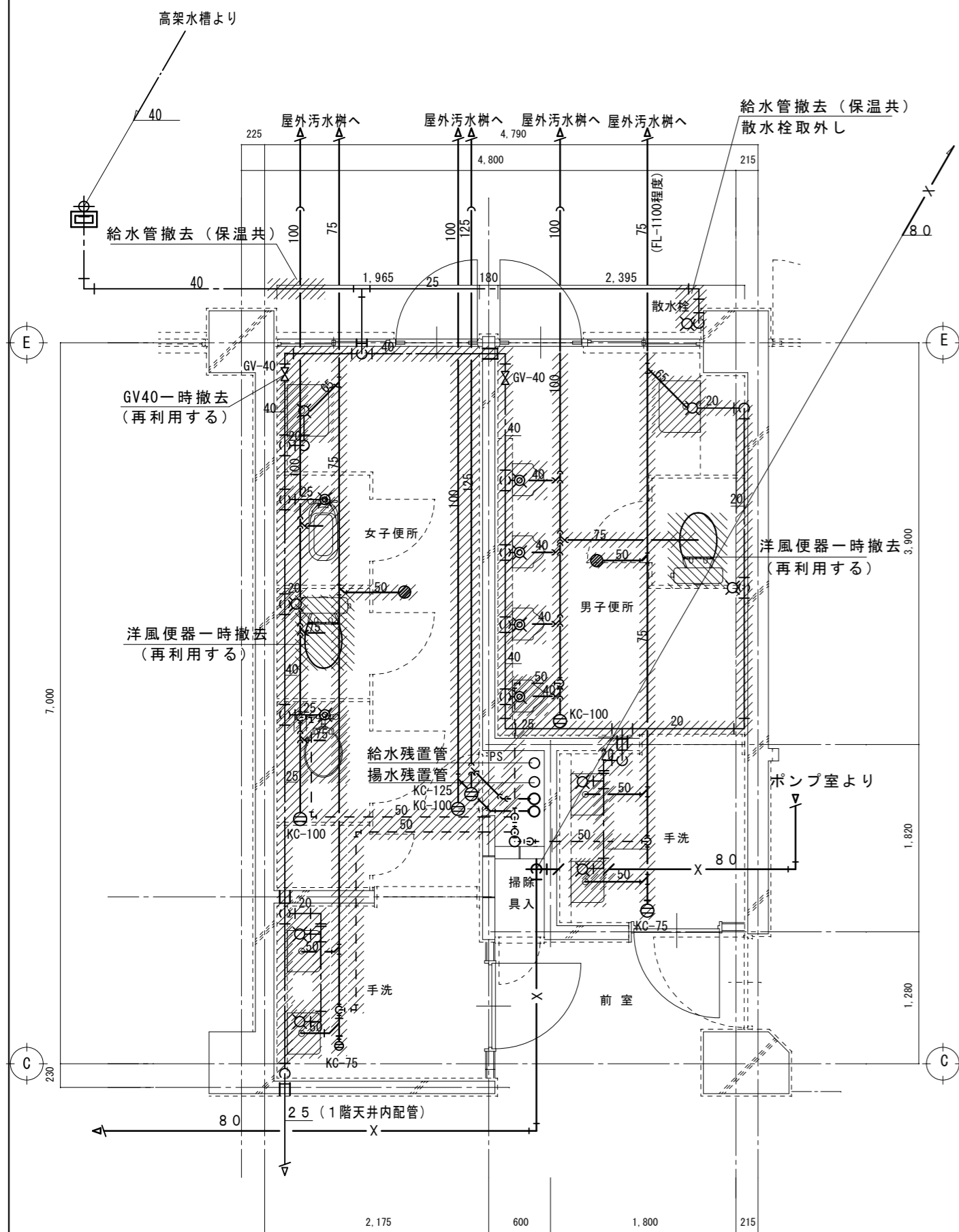
福山市立加茂中学校校舎（東側） 便所改修給排水衛生設備他工事				M 9
4階平面図			縮尺	1:150
2026年4月	課員	施設担当次長	課長補佐	課長部 長
福山市教育委員会施設課				



東棟 R 階平面図 S=1:150
(既設図)

福山市立加茂中学校校舎 (東側) 便所改修給排水衛生設備他工事					M 10
R 階平面図				縮尺 1:150	
2026年 4月	課 員	施設担当次長	課長補佐	課 長	部 長
福山市教育委員会施設課					

改修前（給排水衛生設備）

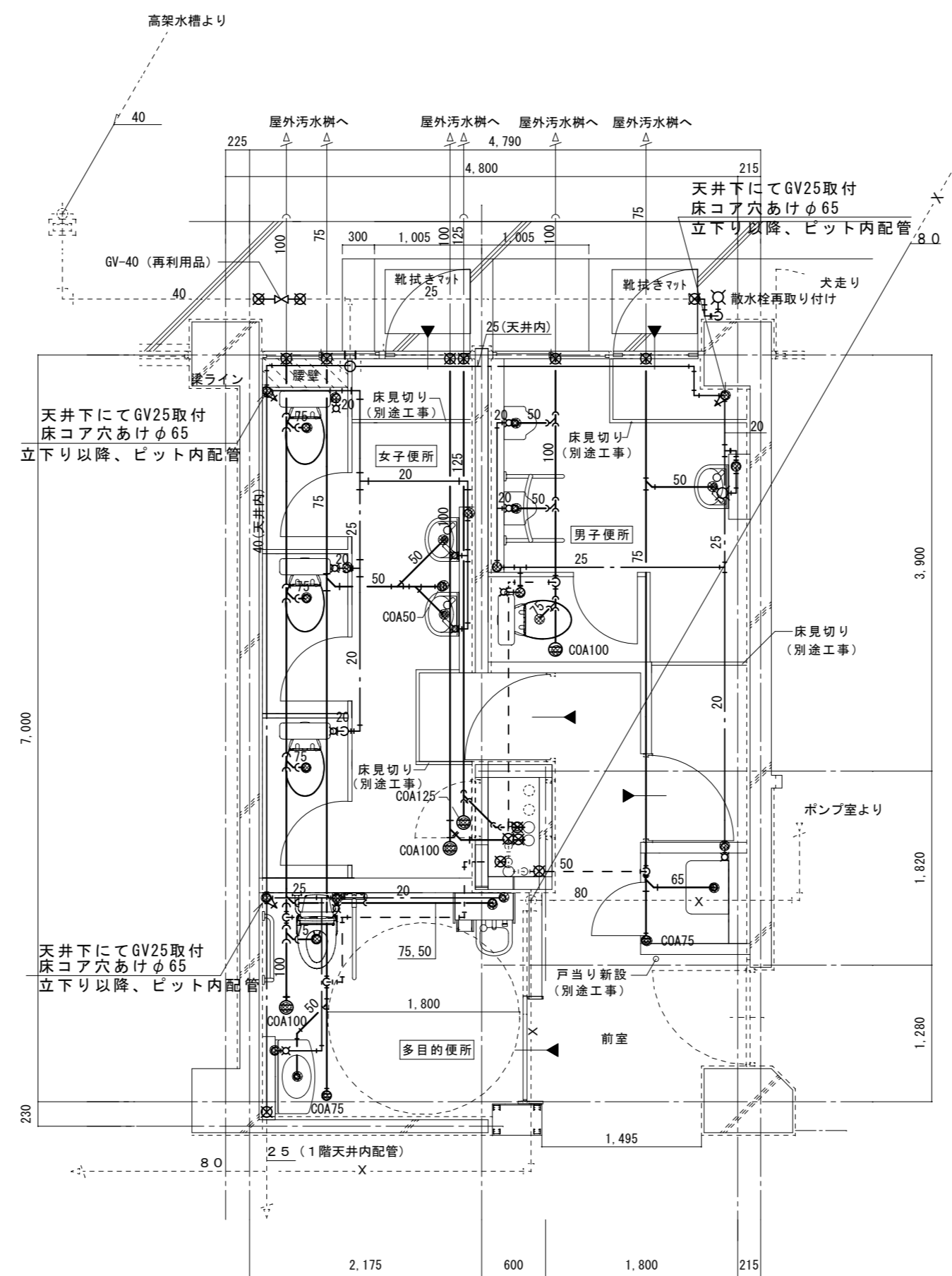


⊘ : 既設撤去部を示す。

※一部の器具類、及びPS内の縦管は既設利用とし、その他の給排水管等は撤去する。
 ※既設利用する各排水縦管は高圧水による管路洗浄を行う。洗浄のタイミングは監督員と協議のうえ決定する。
 ※器具や配管撤去後の開口部の穴埋め・補修は本工事とする。
 ※工事範囲内の天井撤去・復旧及び各点検口新設は別途建築工事とする。

名称	品番	適用				合計	備考
		1F	2F	3F	4F		
和風便器	C-375V	1	3	2	3	9	
洋風便器 (FV)	C-14	1	1	2	1	5	
洋風便器 (FT式)	CFS498	2	2	2	2	8	取り外し再利用
	TG301	2	2	2	2	8	車いす用洋風便器 (FV式) 取り外し清掃後、校内の指定場所に保管とする。
	YH51R	2	2	2	2	8	取り外し再利用
小便器	U-23	4	4	4	4	16	
洗面器	L230D	4				4	
手洗い器	L-50		4	4	4	12	
掃除用流し	SK22A	2	2	2	2	8	
化粧鏡	TS-119ASAY-3	4	4	4	4	16	
床上掃除口	KC-65	2	2	2	2	6	
	KC-75	2	2	2	2	8	
	KC-100	3	4	4	4	15	
	KC-125	1				1	
排水目皿		2	2	2	2	8	

改修後（給排水衛生設備）

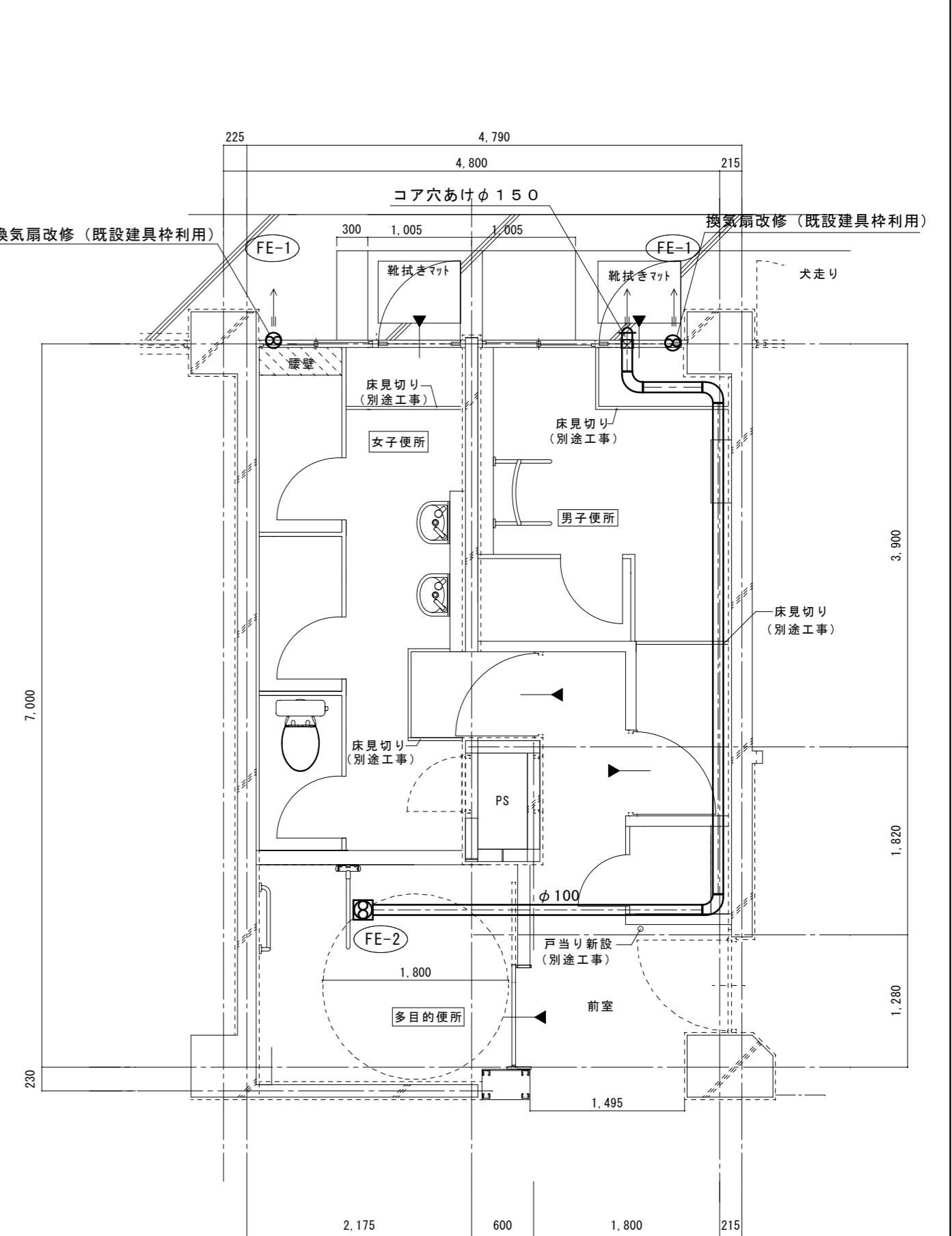


⊗ : 既設接続部を示す。
 ⊙ : 床穴あけ部を示す。

※衛生器具の補強は別途建築工事とする。

記号	名称	器具番号	その他仕様等	適用				合計	備考
				1F	2F	3F	4F		
L-1	洋風便器 (FT式)	CF5498		4	4	4	4	16	16基のうち、8基再利用品
	暖房便座	TCF116		4	4	4	4	16	
	紙巻機	YH51R		4	4	4	4	16	16基のうち、8基再利用品
L-2	車いす用洋風便器 (FV式)	C480AN	TFEV70ER, TSF-100AR	1	1	1	1	4	
	温水洗浄便座	TCF5841ADPR		1	1	1	1	4	
L-3	背もたれ	EW293		1	1	1	1	4	
L-4	ストリートパツ	UAS81RDB1NW	UTR141×2	1				1	
L-5	小便器	UFH507CR	T6660PN	2	3	3	3	11	
L-6	洗面器	L210D	TL19AR, TLDP2105JA, TFL4CFU, TL250D	3	3	3	3	12	
L-7	化粧鏡	YH3545A		3	3	3	3	12	
L-8	車いす用洗面器	L270DM	TLE28551A, T68MP, TL4CFU, TL250D	1	1	1	1	4	
L-9	化粧鏡	YH6090A		1	1	1	1	4	
床上掃除口	掃除用流し	SK22A	TK22, T23AEQ20C, TN114, T9R, T375SEP	1	1	1	1	4	
		COA-50		1	2	2	2	7	
		COA-65		3	3	3	3	9	
		COA-75		3				3	
		COA-100		3	3	3	3	12	
	COA-125		1				1		

改修後（換気設備）



記号	名称	仕様	電源容量	数量
FE-1	壁掛式換気扇 (24h換気対応)	型式 窓枠据付け格子タイプ 有効換気量 強: 540 弱(24時間換気): 285 (m³/h) 付属品 SUS製ウェザーカバー	電源 1φ-100V 消費電力 18W	2
FE-2	天井換気扇 (24h換気対応)	型式 天井埋込型 有効換気量 強: 120 弱(24時間換気): 75 (m³/h) 付属品 SUS製ペントキャップ	電源 1φ-100V 消費電力 3.3W	1

特記事項 1. コントロールSWは、電気工事に支給とする。
 2. 電源接続は別途電気工事とする。

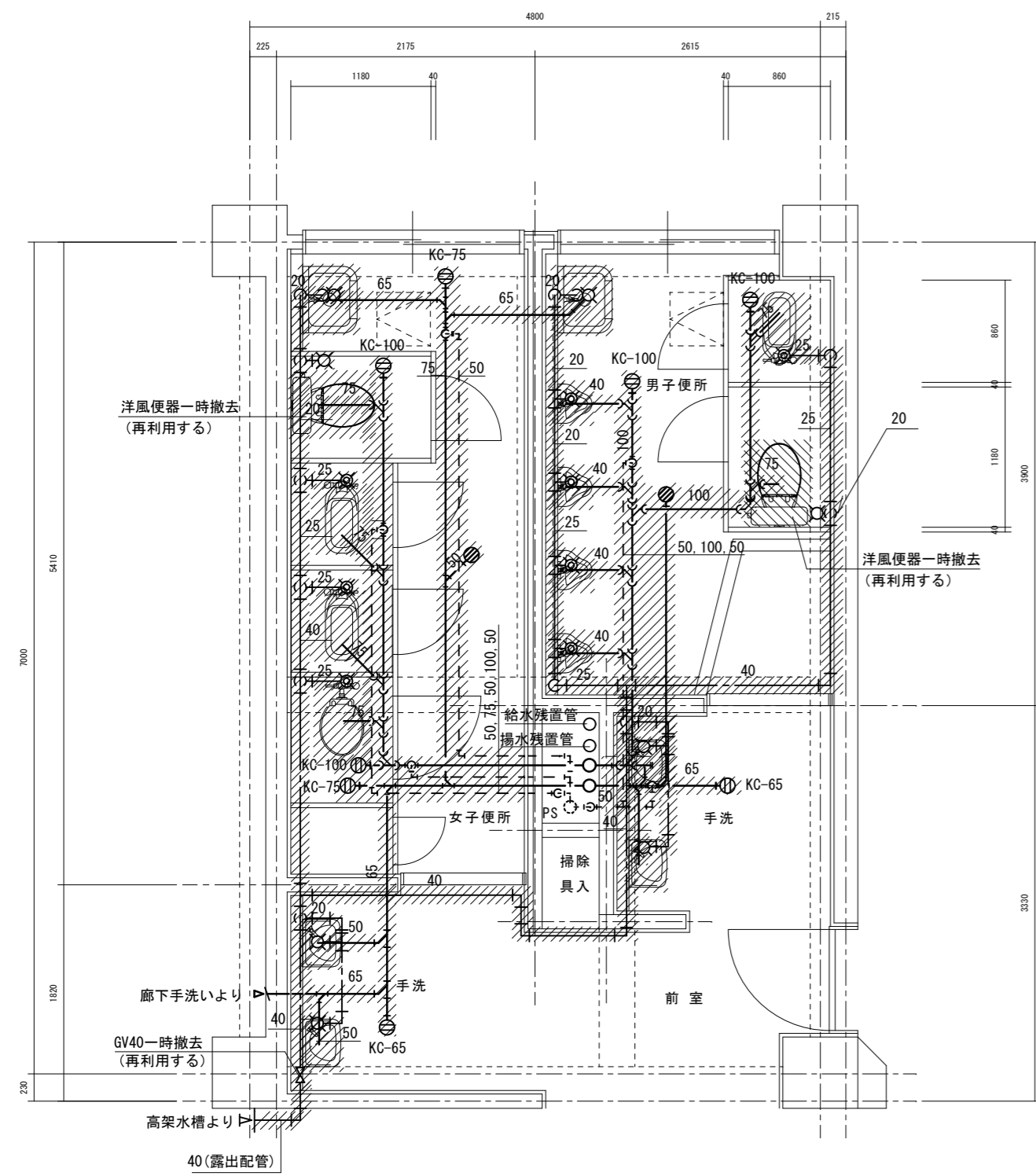
福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修
 給排水衛生設備他工事

1階平面詳細図 縮尺 1:50

2026年4月 課員 施設担当次長 課長補佐 課長部 長

福山市教育委員会施設課

改修前（給排水衛生設備）



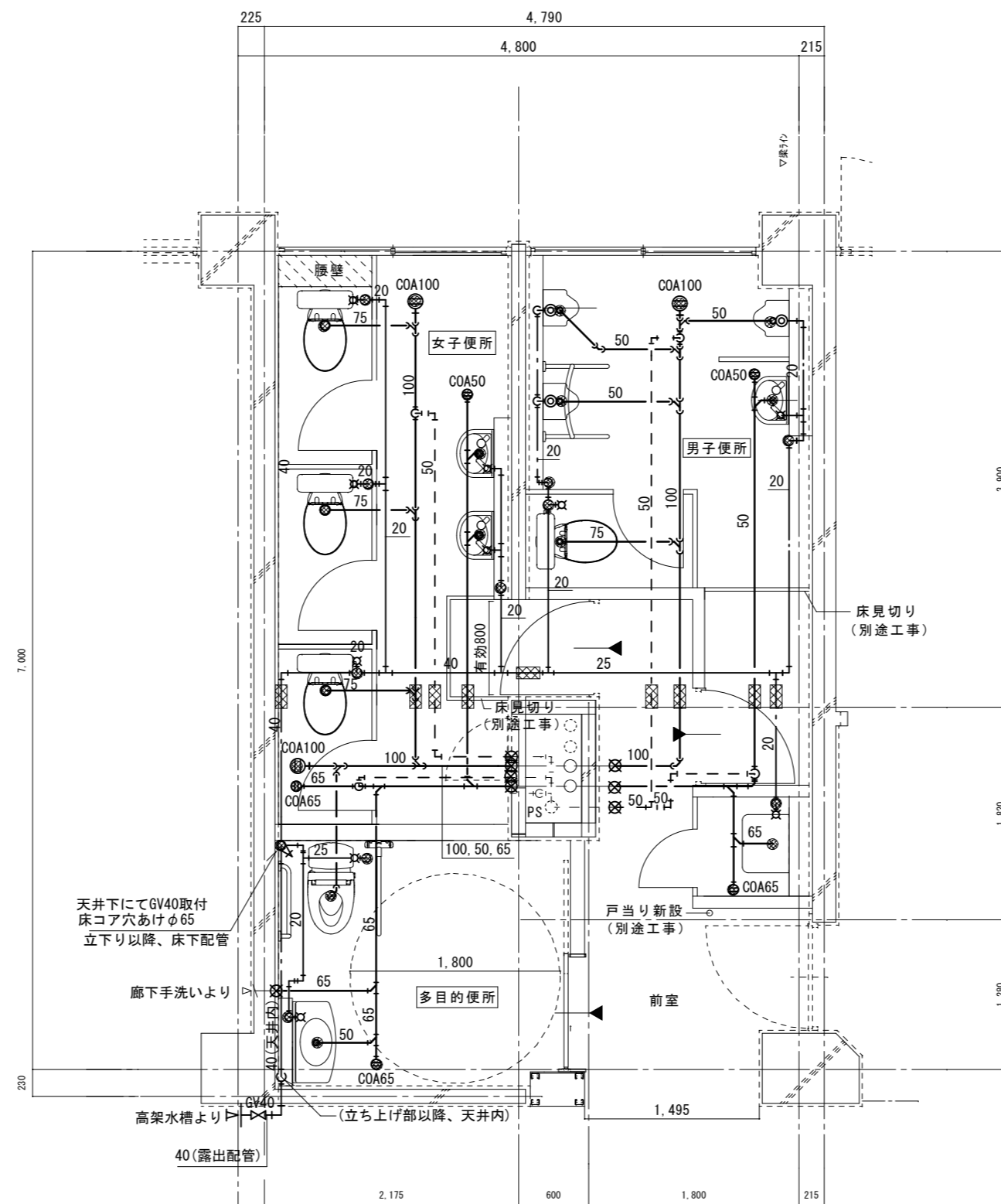
▨ : 既設撤去部を示す。

※一部の器具類、及びPS内の縦管は既設利用とし、その他の給排水管等は撤去する。
 ※既設利用する各排水縦管は高圧水による管路洗浄を行う。洗浄のタイミングは監督員と協議のうえ決定する。
 ※器具や配管撤去後の開口部の穴埋め・補修は本工事とする。
 ※工事範囲内の天井撤去・復旧及び各点検口新設は別途建築工事とする。

撤去器具表

名称	品番	適用				合計	備考
		1F	2F	3F	4F		
和風大便器	C-375V	1	3	2	3	9	
洋風便器 (FV)	C-14	1	1	2	1	5	
	GFS498	2	2	2	2	8	取り外し再利用
洋風便器 (F1式)	TC301	2	2	2	2	8	取り外し清掃後、校内の指定場所に保管とする。
	YHS1R	2	2	2	2	8	取り外し再利用
小便器	U-23	4	4	4	4	16	
洗面器	L230D	4				4	
手洗い器	L-5D		4	4	4	12	
掃除用流し	SK22A	2	2	2	2	8	
化粧鏡	TS-119ASAY-3	4	4	4	4	16	
床上掃除口	KC-65		2	2	2	6	
	KC-75	2	2	2	2	8	
	KC-100	3	4	4	4	15	
	KC-125	1				1	
排水目皿		2	2	2	2	8	

改修後（給排水衛生設備）



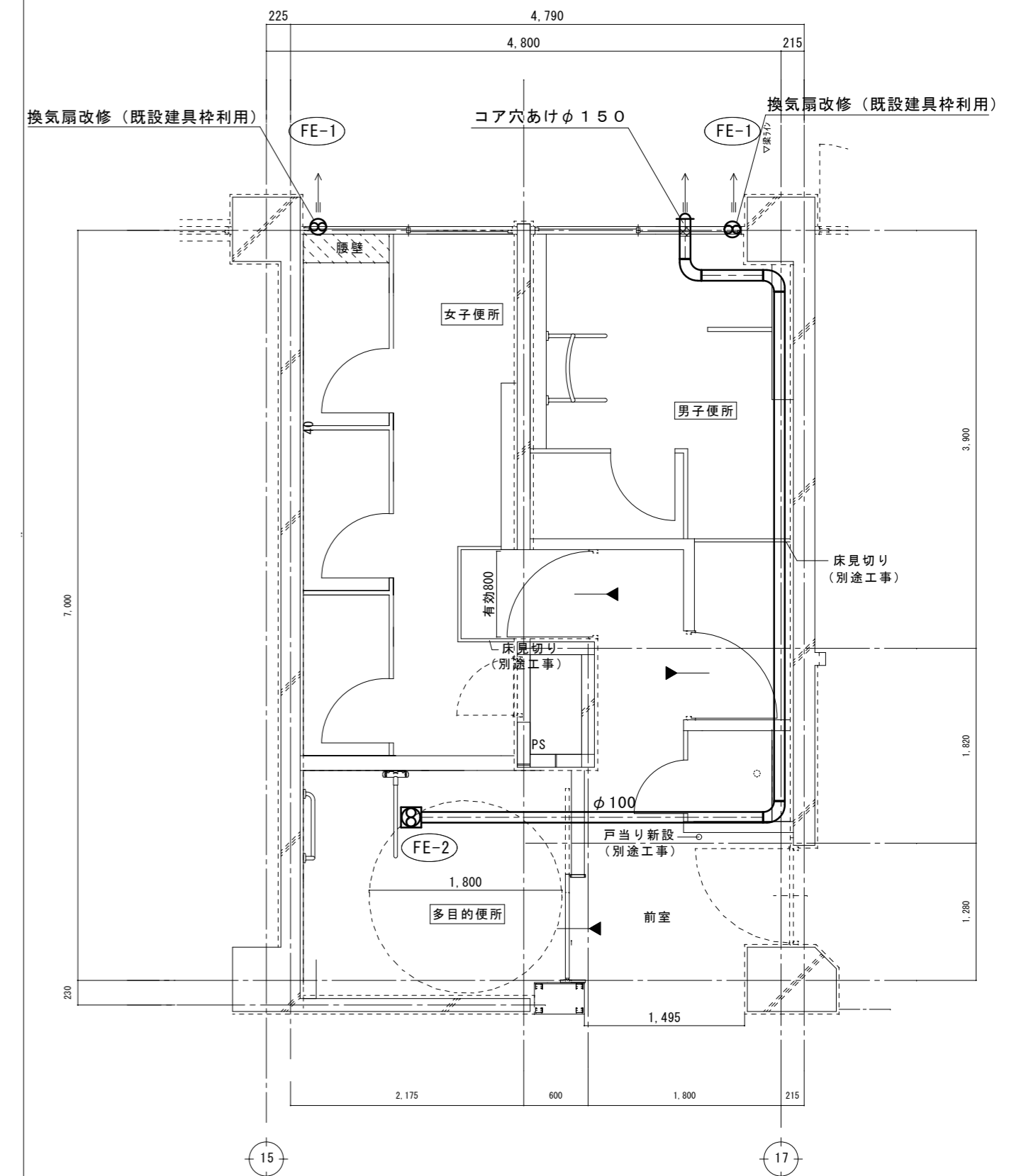
⊗ : 既設接続部を示す。
 ⊠ : 壁(梁下)穴あけ部を示す。
 ⊙ : 床穴あけ部を示す。

※衛生器具の補強は別途建築工事とする。

新設便所器具表

記号	名称	器具番号	その他仕様等	適用				合計	備考
				1F	2F	3F	4F		
L-1	洋風便器 (F1式)	GFS498		4	4	4	4	16	16基のうち、8基再利用品
	暖房便座	TCF116		4	4	4	4	16	
L-2	紙巻器	YHS1R		4	4	4	4	16	16基のうち、8基再利用品
	床いす用洋風便器 (F1式)	C480AN		1	1	1	1	4	
L-3	温水洗浄便座	TCFS841ADR		1	1	1	1	4	
	背もたれ	ERC293		1	1	1	1	4	
L-4	オストメイトパッド	UAS81RDB1NW	UTR141×2	1				1	
L-5	小便器	UFH507CR	T6660PN	2	3	3	3	11	
L-6	洗面器	L210D	TL19AR, TLDP2105JA, TFL4CFU, TL250D	3	3	3	3	12	
L-7	化粧鏡	YWS45A		3	3	3	3	12	
L-8	床いす用洗面器	L270DM	TLE285S1A, T66MP, TL4CFU, TL250D	1	1	1	1	4	
L-9	化粧鏡	YWS609A		1	1	1	1	4	
床掃除口	掃除用流し	SK22A	TK22, T23AE020C, TN114, T9R, T375GEP	1	1	1	1	4	
	COA-50			1	2	2	2	7	
	COA-65				3	3	3	9	
	COA-75			3				3	
	COA-100			3	3	3	3	12	
	COA-125			1				1	

改修後（換気設備）



換気機器表

記号	名称	仕様	電源容量	数量
FE-1	壁掛式換気扇 (24h換気対応)	型式	窓枠据付け格子タイプ	電源 1φ-100V 消費電力 18W
		有効換気量	強: 540 弱(24時間換気): 285 (m³/h)	
FE-2	天井換気扇 (24h換気対応)	型式	天井埋込型	電源 1φ-100V 消費電力 3.3W
		有効換気量	強: 120 弱(24時間換気): 75 (m³/h)	
		付属品	SUS製ウェザーカバー	
		付属品	SUS製ペントキャップ	

特記事項 1. コントロールSWは、電気工事に支給とする。
 2. 電源接続は別途電気工事とする。

福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修
 給排水衛生設備他工事

M
 12

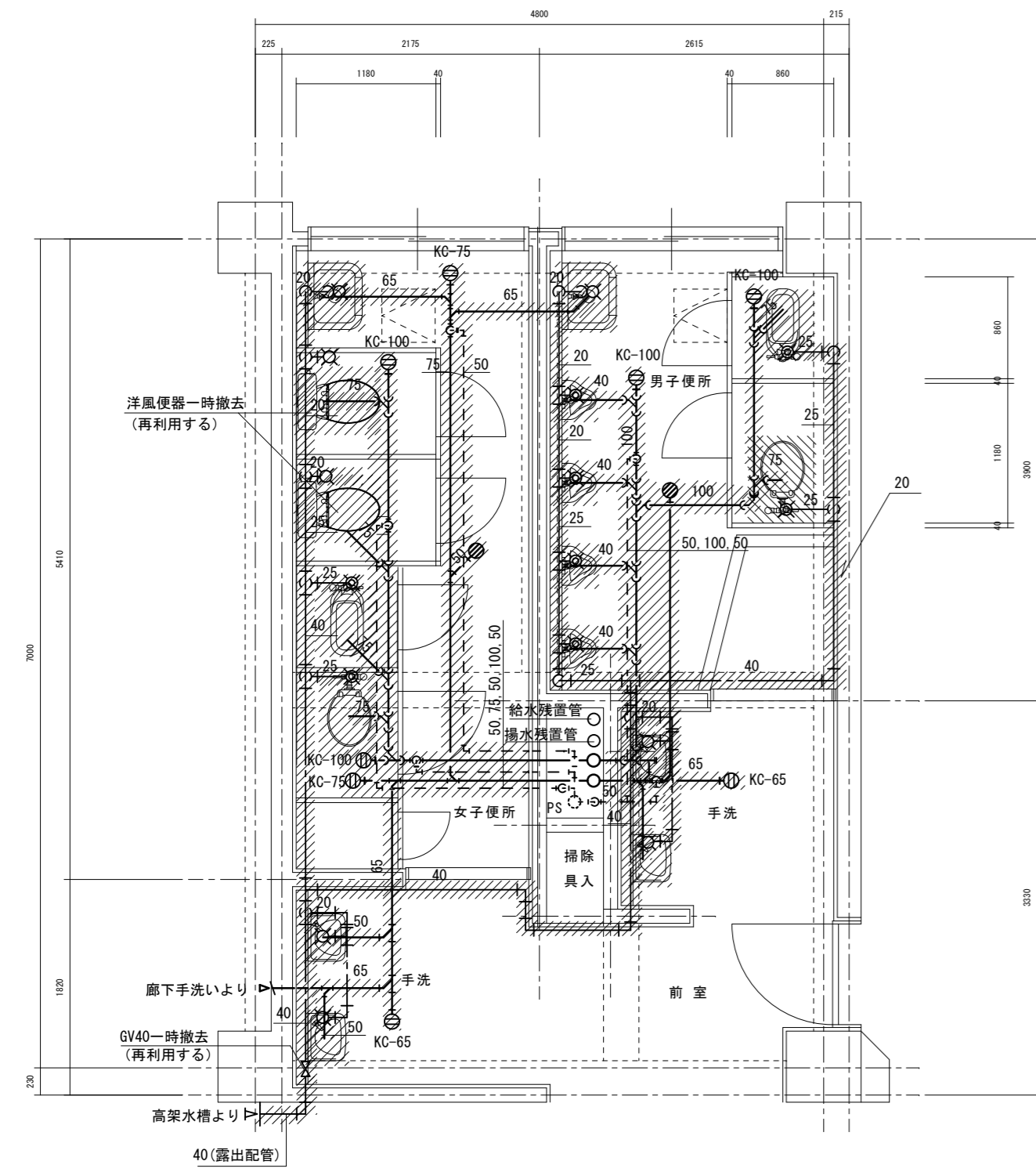
2, 4階平面詳細図

縮尺 1:50

2026年4月 課員 施設担当次長 課長補佐 課長部 長

福山市教育委員会施設課

改修前（給排水衛生設備）



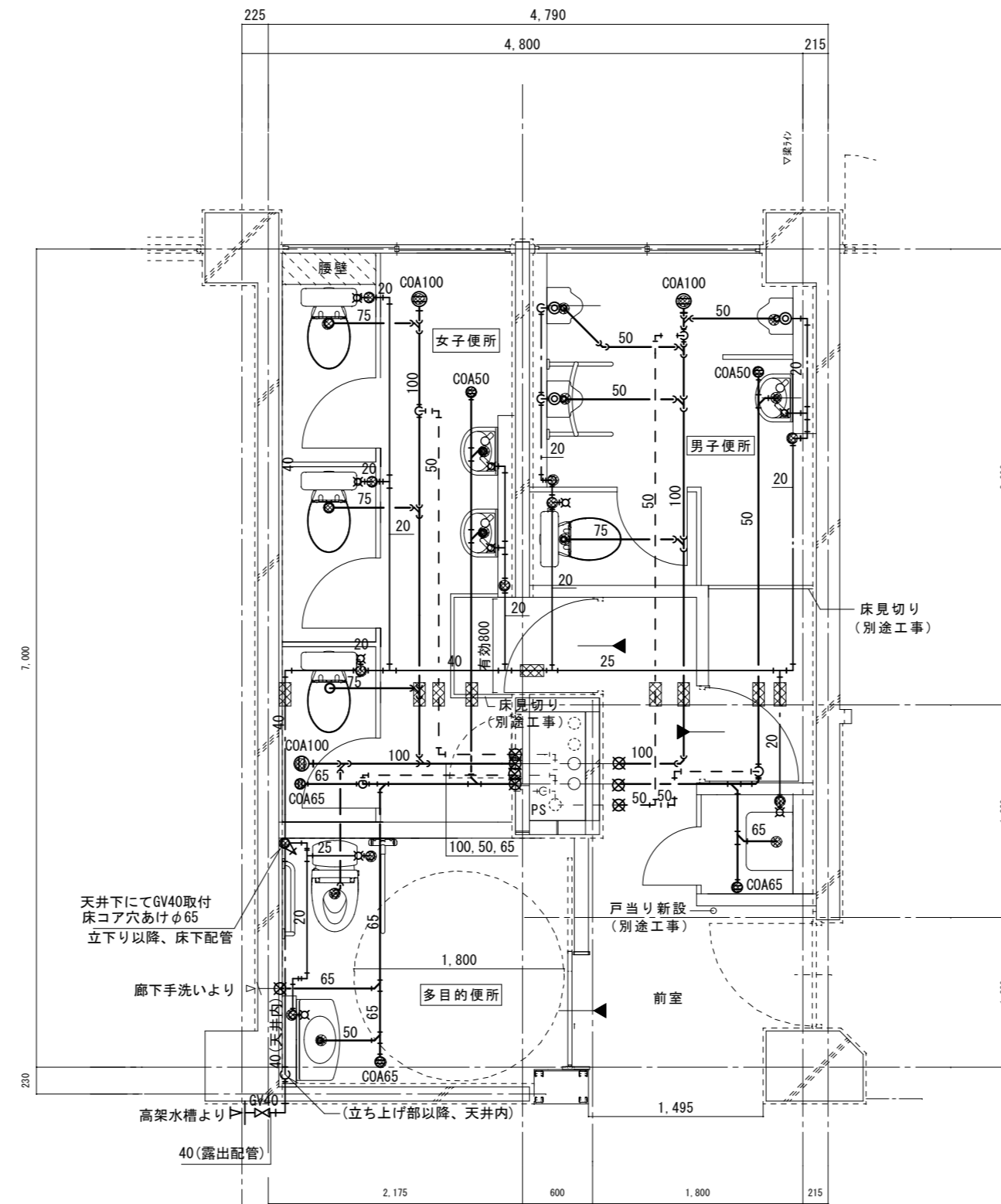
▨ : 既設撤去部を示す。

※一部の器具類、及びPS内の縦管は既設利用とし、その他の給排水管等は撤去する。
 ※既設利用する各排水縦管は高圧水による管路洗浄を行う。洗浄のタイミングは監督員と協議のうえ決定する。
 ※器具や配管撤去後の開口部の穴埋め・補修は本工事とする。
 ※工事範囲内の天井撤去・復旧及び各点検口新設は別途建築工事とする。

撤去器具表

名称	品番	名称	適用				合計	備考
			1F	2F	3F	4F		
和風大便器	C-375V		1	3	2	3	9	
洋風便器 (FV)	C-14		1	1	2	1	5	
洋風便器 (FT式)	GFS498		2	2	2	2	8	取り外し再利用
	TC301		2	2	2	2	8	取り外し清掃後、校内の指定場所に保管とする。
	YHS1R		2	2	2	2	8	取り外し再利用
小便器	U-23		4	4	4	4	16	
洗面器	L230D		4				4	
手洗い器	L-5D			4	4	4	12	
掃除用流し	SK22A		2	2	2	2	8	
化粧鏡	TS-119ASAY-3		4	4	4	4	16	
床上げ掃除口	KC-65			2	2	2	6	
	KC-75		2	2	2	2	8	
	KC-100		3	4	4	4	15	
	KC-125		1				1	
排水目皿			2	2	2	2	8	

改修後（給排水衛生設備）



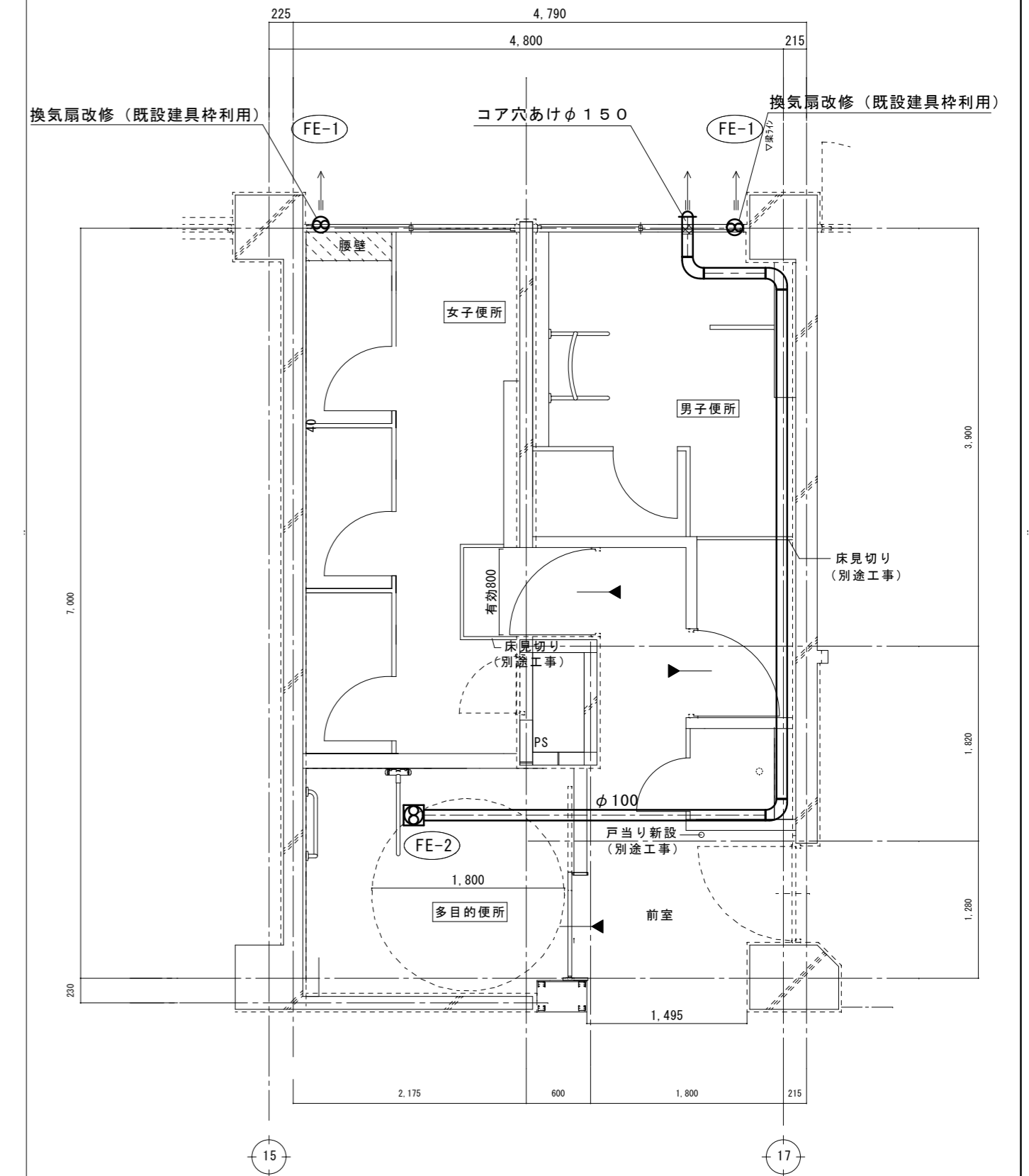
⊗ : 既設接続部を示す。
 ⊠ : 壁（梁下）穴あけ部を示す。
 ⊙ : 床穴あけ部を示す。

※衛生器具の補強は別途建築工事とする。

新設便所器具表

記号	名称	器具番号	その他仕様等	適用				合計	備考
				1F	2F	3F	4F		
L-1	洋風便器 (FT式)	GFS498		4	4	4	4	16	16基のうち、8基再利用品
	暖房便座	TCF116		4	4	4	4	16	
L-2	紙巻器	YHS1R		4	4	4	4	16	16基のうち、8基再利用品
	車いす用洋風便器 (FV式)	C480AN	TEFV70ER, TSF-100AR	1	1	1	1	4	
	温水洗浄便座	TCF584ADPR		1	1	1	1	4	
L-3	背もたれ	ERC293		1	1	1	1	4	
	オストイハック	UAS81RDB1NH	UTR141×2	1				1	
L-4	小便器	UFH507CR		2	3	3	3	11	
L-5	洗面器	L210D	TL19AR, TL0P2105JA, TFL4CFU, TL250D	3	3	3	3	12	
L-6	化粧鏡	YHS45A		3	3	3	3	12	
L-7	車いす用洗面器	L270M	TL285S1A, T66MP, TL4CFU, TL250D	1	1	1	1	4	
L-8	化粧鏡	YHS090A		1	1	1	1	4	
L-9	掃除用流し	SK22A	TK22, T23AE020C, TN114, T6R, T375GP	1	1	1	1	4	
床上げ掃除口	COA-50			1	2	2	2	7	
	COA-65				3	3	3	9	
	COA-75			3				3	
	COA-100			3	3	3	3	12	
	COA-125			1				1	

改修後（換気設備）



換気機器表

記号	名称	仕様	電源容量	数量
FE-1	壁掛式換気扇 (24h換気対応)	型式 窓枠据付け格子タイプ 有効換気量 強: 540 弱(24時間換気): 285 (m³/h) 付属品 SUS製ウェザーカバー	電源 1φ-100V 消費電力 18W	2
FE-2	天井換気扇 (24h換気対応)	型式 天井埋込型 有効換気量 強: 120 弱(24時間換気): 75 (m³/h) 付属品 SUS製ペントキャップ	電源 1φ-100V 消費電力 3.3W	1

特記事項 1. コントロールSWは、電気工事に支給とする。
 2. 電源接続は別途電気工事とする。

福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修
 給排水衛生設備他工事

縮尺 1 : 50

3階平面詳細図

2026年 4月 課員 施設担当次長 課長補佐 課長部 長

福山市教育委員会施設課

参考数量書

§ 工事名称 福山市立加茂中学校（東側）便所改修給排水衛生設備他工事

§ 工事場所 福山市加茂町大字下加茂 1 1 9 0 番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立加茂中学校校舎（東側）便所改修給排水衛生設備他工事

工事場所 福山市加茂町大字下加茂 1 1 9 0 番地

- 【工事概要】
- ・給排水衛生設備工事 ~ 一式
 - ・換気設備工事 ~ 一式
- 【別途工事】
- ・電気設備工事 ~ 一式

機械設備工事		衛生器具設備工事		衛生器具設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1階						
洋風便器	L-1 材工共	2	組			
洋風便器 (再利用品)	L-1 材工共 (暖房便座のみ新設)	2	組			
車いす用洋風便器	L-2 材工共	1	組			
木製トイレット	L-3 材工共	1	組			
小便器	L-4 材工共	2	組			
洗面器	L-5 材工共	3	組			
化粧鏡	L-6 材工共	3	枚			
洗面器	L-7 材工共	1	組			
化粧鏡	L-8 材工共	1	枚			
掃除用流し	L-9 材工共	1	組			
2, 4階						
洋風便器	L-1 材工共	4	組			
洋風便器 (再利用品)	L-1 材工共 (暖房便座のみ新設)	4	組			
車いす用洋風便器	L-2 材工共	2	組			
小便器	L-4 材工共	6	組			
洗面器	L-5 材工共	6	組			
化粧鏡	L-6 材工共	6	枚			
洗面器	L-7 材工共	2	組			
化粧鏡	L-8 材工共	2	枚			

機械設備工事		給水設備工事		給水設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1階						
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 20A	19	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 25A	20	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 40A	7	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	屋内一般 25A	4	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	屋内一般 40A	1	m			
一般弁類 取付	40A	1	個			
給水管 保温	グラスウール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 20A	11	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,ハイクシャフト内 アルミガラスクロス 20A	8	m			
給水管 保温	グラスウール 暗渠内 着色アルミガラスクロス 25A	5	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,ハイクシャフト内 アルミガラスクロス 25A	6	m			
給水管 保温	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製カバー-1 25A	9	m			
給水管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 25A	4	m			
給水管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 40A	1	m			
給水管 保温	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製カバー-1 40A	1	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,ハイクシャフト内 アルミガラスクロス 40A	6	m			
既設管接続	樹脂管40A 保温あり	2	か所			
既設管接続	樹脂管25A 保温あり	2	か所			
機械はつり(グイェント・カッターによる配管用貫通口)	100 - 150mm 50mm	10	か所			
機械はつり(グイェント・カッターによる配管用貫通口)	100 - 150mm 63mm	3	か所			

機械設備工事		給水設備工事		給水設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2, 4階						
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 20A	40	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 25A	12	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 40A	12	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 40A	2	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,ハイクシャフト内 アルミガラスウール 20A	40	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,ハイクシャフト内 アルミガラスウール 25A	6	m			
給水管 保温	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加-1 25A	6	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,ハイクシャフト内 アルミガラスウール 40A	12	m			
給水管 保温	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加-1 40A	1	m			
一般弁類 取付	40A	2	個			
既設管接続	樹脂管40A 保温あり	4	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100-150mm 50mm	18	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100-150mm 63mm	2	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 50mm	2	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 63mm	4	か所			
3階						
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 20A	20	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 25A	6	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 40A	6	m			

機械設備工事		給水設備工事		給水設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 40A	1	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 20A	20	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 25A	3	m			
給水管 保温	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加へ-1 25A	3	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 40A	6	m			
給水管 保温	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加へ-1 40A	1	m			
一般弁類 取付	40A	1	個			
既設管接続	樹脂管40A 保温あり	2	か所			
機械はつり(パイプカッターによる配管用貫通口)	100 - 150mm 50mm	9	か所			
機械はつり(パイプカッターによる配管用貫通口)	100 - 150mm 63mm	1	か所			
機械はつり(パイプカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 50mm	1	か所			
機械はつり(パイプカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 63mm	2	か所			
計						

機械設備工事		排水設備工事		排水設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1階						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	10	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A	22	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 100A	17	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 125A	5	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	13	m			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 100mm	7	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 125mm	9	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 150mm	3	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 175mm	1	か所			
床上掃除口 取付(COA)	50A	1	個			
床上掃除口 取付(COA)	80A	2	個			
床上掃除口 取付(COA)	100A	3	個			
床上掃除口 取付(COA)	125A	1	個			
既設管接続	樹脂管 50A	3	か所			
既設管接続	樹脂管 75A	2	か所			
既設管接続	樹脂管 100A	4	か所			
既設管接続	樹脂管 125A	2	か所			
2, 4階						

機械設備工事		排水設備工事		排水設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	24	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A	18	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A	18	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 100A	24	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	20	m			
排水管 保温	グラスコール 天井内,ハイシャフト内 アルミガラスウレ 50A	44	m			
排水管 保温	グラスコール 天井内,ハイシャフト内 アルミガラスウレ 65A	18	m			
排水管 保温	グラスコール 天井内,ハイシャフト内 アルミガラスウレ 80A	18	m			
排水管 保温	グラスコール 天井内,ハイシャフト内 アルミガラスウレ 100A	24	m			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 100mm	18	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 125mm	18	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	100～150mm 150mm	6	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 100mm	8	か所			
機械はつり(ダクトカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 125mm	4	か所			
床上掃除口 取付(COA)	50A	4	個			
床上掃除口 取付(COA)	65A	6	個			
床上掃除口 取付(COA)	100A	6	個			
既設管接続	樹脂管 50A	6	か所			
既設管接続	樹脂管 65A	4	か所			
既設管接続	樹脂管 100A	4	か所			

機械設備工事		排水設備工事		排水設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
区画貫通処理	65A	8	か所			
区画貫通処理	75A	10	か所			
区画貫通処理	100A	6	か所			
3階						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	12	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A	9	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A	9	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 100A	12	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	10	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 50A	22	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 65A	9	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 80A	9	m			
排水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスウール 100A	12	m			
機械はつり(ダクトバンドカッターによる配管用貫通口)	100 - 150mm 100mm	9	か所			
機械はつり(ダクトバンドカッターによる配管用貫通口)	100 - 150mm 125mm	9	か所			
機械はつり(ダクトバンドカッターによる配管用貫通口)	100 - 150mm 150mm	3	か所			
機械はつり(ダクトバンドカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 100mm	4	か所			
機械はつり(ダクトバンドカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 125mm	2	か所			
床上掃除口 取付(COA)	50A	2	個			
床上掃除口 取付(COA)	65A	3	個			

機械設備工事		換気設備工事		換気設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1階						
壁付換気扇	窓枠据え付け格子タイプ 付属品共、材工共	2	組			
天井扇	天井埋込型 付属品共、材工共	1	組			
スパイラルダクト外保温 (32K) (基準単価)	グラスウール 屋内隠べい、ダクトシャフト内 アルミガラスクロス 100mm 保温厚25	1	m			
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート無 100mm	10	m			
機械はつり(ダクト) ントッカーによる 配管用貫通口)	100～150mm 150mm	1	か所			
2, 4階						
壁付換気扇	窓枠据え付け格子タイプ 付属品共、材工共	4	組			
天井扇	天井埋込型 付属品共、材工共	2	組			
スパイラルダクト外保温 (32K) (基準単価)	グラスウール 屋内隠べい、ダクトシャフト内 アルミガラスクロス 100mm 保温厚25	2	m			
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート無 100mm	20	m			
機械はつり(ダクト) ントッカーによる 配管用貫通口)	100～150mm 150mm	2	か所			
3階						
壁付換気扇	窓枠据え付け格子タイプ 付属品共、材工共	2	組			
天井扇	天井埋込型 付属品共、材工共	1	組			
スパイラルダクト外保温 (32K) (基準単価)	グラスウール 屋内隠べい、ダクトシャフト内 アルミガラスクロス 100mm 保温厚25	1	m			
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート無 100mm	10	m			
機械はつり(ダクト) ントッカーによる 配管用貫通口)	100～150mm 150mm	1	か所			
計						

機械設備工事		撤去工事		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1階						
和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	1	組			
大便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	1	組			
大便器 取外し	クク式 再使用する	2	組			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	4	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	4	組			
鏡撤去	再使用しない	4	枚			
掃除流し撤去	ハック付き掃除流し 再使用しない	2	組			
床上掃除口撤去	KC-75	2	か所			
床上掃除口撤去	KC-100	3	か所			
床上掃除口撤去	KC-125	1	か所			
排水目皿撤去		2	か所			
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP) 撤去	機械室・便所 20A	27	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP) 撤去	機械室・便所 25A	10	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩ビ管(HIVP) 撤去	機械室・便所 40A	10	m			
給水・耐衝撃性 塩ビ管(HIVP) 撤去	屋内一般 25A	4	m			
給水・耐衝撃性 塩ビ管(HIVP) 撤去	屋内一般 40A	1	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製が-1及び2 20A 再使用しない	27	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製が-1及び2 25A 再使用しない	10	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製が-1及び2 40A 再使用しない	10	m			

機械設備工事		撤去工事		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 25A 再使用しない	4	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 40A 再使用しない	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 40A	4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 50A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 65A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 75A	15	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 100A	8	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 125A	4	m			
	2, 4階					
和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	6	組			
大便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	2	組			
大便器 取外し	クック式 再使用する	4	組			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	8	組			
手洗器撤去	再使用しない	8	組			
鏡撤去	再使用しない	8	枚			
掃除流し撤去	バック付き掃除流し 再使用しない	4	組			
床上掃除口撤去	KC-65	4	か所			
床上掃除口撤去	KC-75	4	か所			
床上掃除口撤去	KC-100	8	か所			
排水目皿撤去		4	か所			

機械設備工事		撤去工事		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)撤去	機械室・便所 20A	60	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)撤去	機械室・便所 25A	32	m			
給水・耐衝撃性ホリ塩ビ管(HIVP)撤去	機械室・便所 40A	26	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加 ^レ -1及びび2 20A 再使用しない	60	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加 ^レ -1及びび2 25A 再使用しない	32	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加 ^レ -1及びび2 40A 再使用しない	26	m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)撤去	機械室・便所 40A	8	m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)撤去	機械室・便所 50A	14	m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)撤去	機械室・便所 65A	18	m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)撤去	機械室・便所 75A	26	m			
排水・硬質ホリ塩化ビニル管(VP)撤去	機械室・便所 100A	26	m			
排水管 保温撤去	グラスウール 天井内,ハ ^レ イ ^レ シャフト内 アルミガラスウール 40A 再使用しない	8	m			
排水管 保温撤去	グラスウール 天井内,ハ ^レ イ ^レ シャフト内 アルミガラスウール 50A 再使用しない	14	m			
排水管 保温撤去	グラスウール 天井内,ハ ^レ イ ^レ シャフト内 アルミガラスウール 65A 再使用しない	18	m			
排水管 保温撤去	グラスウール 天井内,ハ ^レ イ ^レ シャフト内 アルミガラスウール 80A 再使用しない	26	m			
排水管 保温撤去	グラスウール 天井内,ハ ^レ イ ^レ シャフト内 アルミガラスウール 100A 再使用しない	26	m			
3階						
和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	2	組			
大便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	2	組			
大便器取外し	タコ式 再使用する	2	組			

機械設備工事		撤去工事		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	4	組			
手洗器撤去	再使用しない	4	組			
鏡撤去	再使用しない	4	枚			
掃除流し撤去	ﾊﾞｯｸ付き掃除流し 再使用しない	2	組			
床上掃除口撤去	KC-65	2	か所			
床上掃除口撤去	KC-75	2	か所			
床上掃除口撤去	KC-100	4	か所			
排水目皿撤去		2	か所			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP) 撤去	機械室・便所 20A	30	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP) 撤去	機械室・便所 25A	16	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管(HIVP) 撤去	機械室・便所 40A	13	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加へ-1及びび2 20A 再使用しない	30	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加へ-1及びび2 25A 再使用しない	16	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋内露出 合成樹脂製加へ-1及びび2 40A 再使用しない	13	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 40A	4	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 50A	7	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 65A	9	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 75A	13	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)撤去	機械室・便所 100A	13	m			
排水管 保温撤去	グラスウール 天井内,ﾊﾞｲﾌﾟｼﾞャｯﾄ内 ｱﾙﾐｸﾞﾗｽｸﾙ 40A 再使用しない	4	m			

